自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

	事業所番号	0174100545				
	法人名	有限会社ライフプランニング				
	事業所名	グループホームひだまりの丘(ニ	ユニット1)			
	所在地	北海道釧路市白樺台2丁目8番20号				
	自己評価作成日	平成29年11月22日	評価結果市町村受理日	平成30年2月20日		

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

* +	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action kouhyou detail 2017 022 kani=true&Jig
基本 情報リング 元URL	yosyoCd=0174100545-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

(参考項目:28)

評価機関名	特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ	
所在地	札幌市北区麻生町5丁目2-35コーポラスひかり106号	
訪問調査日	平成29年12月20日	

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

○閑静な住宅街に位置し、昼夜問わず静かな雰囲気の場所です。 家庭で行うような、自然な雰囲気で入居者の方が過ごして頂けるように心がけています。 スタッフは全員明るく、こまめなコミニュケーションを行い、入居者のニーズ、又ご家族からの ニーズにも応えられるようにしております。又衛生面では特に配慮し、季節ごとに流行するウイ ルスにも感染しないよう徹底しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は、閑静な住宅街の中にある木造平屋建て玄関を挟み左右に1ユニットづつに別れている。建物は天窓付きで明るく柔らかい日差しが入り、温・湿度は適正に管理され、清潔でゆったりとした共用空間となっている。職員は利用者が日々穏やかに安心して生活出来る様に、気配り、目配りで見守り、サポートしている。管理者が看護師の資格を有し、利用者の健康管理を行い、家族も職員も健康指導を受け、安心と信頼関係に繋がっている。利用者は地域の盆踊り、花火大会、地域の湖水祭りを見学に行って、近隣住民の理解も増し、事業所行事「夏祭り」には町内会役員などが参加し、畑の手入れやフラダンスに地域のボランティアが来訪して交流している。運営推進会議や避難訓練に家族、地域住民の参加・協力が得られるようになり、交流が深まっている。職員は家庭的な生活環境の中で利用者の精神面、身体面を見守り、日常的に事業所にある器具を使って楽しみながら身体機能を高めるよう支援に努めている。管理者と職員のコミュニケーションも良く、利用者、家族は丁寧な言葉使いや、対応に安心して、サービスに満足している。

	項目	取り組みの成果		項目		取り組みの成果
	块 口	↓該当するものに○印		块 口	↓該当す	るものに〇印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでい	○ 1. ほぼ全ての利用者の		職員は 実体が用っていること 不中かこと ボルているこ	0	1. ほぼ全ての家族と
	喊貝は、利用有の忠いや願い、春らし方の息向を掴んでい z	2. 利用者の2/3くらいの	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていること とをよく聴いており、信頼関係ができている		2. 家族の2/3くらいと
	(参考項目:23,24,25)	3. 利用者の1/3くらいの	0.0	(参考項目:9.10.19)		3. 家族の1/3くらいと
	(3 ·3·XII : 20/2 : /20/	4. ほとんど掴んでいない		(3.3.71.0)(0)		4. ほとんどできていない
		○ 1. 毎日ある		さいのはいだい デナール 明治でのしたいけのした		1. ほぼ毎日のように
7	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	2. 数日に1回程度ある	6/	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々 が訪ねて来ている	0	2. 数日に1回程度
′	(参考項目:18,38)	3. たまにある	04	(参考項目:2.20)		3. たまに
		4. ほとんどない		(2.3.XB.====)		4. ほとんどない
		○ 1. ほぼ全ての利用者が		運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつ		1. 大いに増えている
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	2. 利用者の2/3くらいが	65	連呂推進去職を通じて、地域住民や地元の関係者とのうながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	0	2. 少しずつ増えている
		3. 利用者の1/3くらいが	00			3. あまり増えていない
		4. ほとんどいない		(参考項目:4)		4. 全くいない
	ション・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	1. ほぼ全ての利用者が		職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)		1. ほぼ全ての職員が
۵	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が - みられている	○ 2. 利用者の2/3くらいが			0	2. 職員の2/3くらいが
9	(参考項目:36,37)	3. 利用者の1/3くらいが	00			3. 職員の1/3くらいが
	(罗行织口:00,07)	4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
		1. ほぼ全ての利用者が		職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての利用者が
^	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	2. 利用者の2/3くらいが	67		0	2. 利用者の2/3くらいが
U	(参考項目:49)	○ 3. 利用者の1/3くらいが	07			3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
	ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・	○ 1. ほぼ全ての利用者が		動品から日本 利田本の京都等は4 ビューンンとしま	0	1. ほぼ全ての家族等が
1	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	2. 利用者の2/3くらいが	60	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満 3 足していると思う		2. 家族等の2/3くらいが
•	(参考項目:30.31)	3. 利用者の1/3くらいが	00	りたしているとぶり		3. 家族等の1/3くらいが
	(9.7% [1.00,017	4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
	11円水は、そのはたの小児は正規によばたる地を土壌に	○ 1. ほぼ全ての利用者が		<u>. </u>		•
, ,	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援に	2. 利用者の2/3くらいが				
62	より、安心して暮らせている	3 利田考の1/3/らいが				

(別紙4-1)

自己評価及び外部評価結果

自己評	外部評	項目	自己評価	51	部評価	
一一個	評価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.	I .理念に基づく運営					
1	•	〇理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念 をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実 践につなげている	毎朝唱和し理念の共有は出来ている	事業所理念を各ユニットの事務室と居間に掲示している。毎朝ミーティング時に管理者と職員は唱和して理解・共有し、ケアに反映させている。		
2		○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の病院や美容室、スーパーに行くなど交流 を行っている	地域の盆踊りや花火大会を見に行ったり、近 隣のスーパーや美容室を利用するなどで地域 と交流してる。事業所の夏祭りや避難訓練に 町内会役員が参加して交流している。	地域とのつながりを支えていくために地域の行事などに参加し交流に努めている。 事業所行事を地域住民に周知し相互交流するため「便り」を配布するなど、より多くの地域住民の参加を促がし、認知症の人への理解を深めていく事を期待する。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の 人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活 かしている	時に学生やボランティアさんなどに貢献している			
4		○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを 行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回状況の報告や意見を聴取し活かしている	地域包括支援センター職員、元民生委員、町 内会会長、地域住民、家族などが参加して年6 回実施し、運営状況、行事、事故報告等を報 告して意見、アドバイス等を受け、サービス向 上に活かしている。		
5		〇市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所 の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝え ながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要時の問い合わせに応じたり、報告を上げる など協力関係にある	市担当者へ書類の提出に行き、事業所の取り 組みを伝えたり、アドバイスを受けている。電 話やメールで連絡をとり、地域包括支援セン ター職員とも連絡を蜜にして連携、協力関係を 築いている。		
6		〇身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定例会議での共通認識の確認及び日中の施錠 は実際にしていない	毎月の定例会議で身体拘束の禁止や、防止の対処方法について話し合い、拘束をしないで利用者の安全を配慮するケアの提供に努めている。書面で拘束に関し明示し家族に契約時に説明している。防犯上夜間は施錠している。		
7	/	〇虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学 ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待 が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に 努めている	定例会議で全員への虐待周知徹底を繰り返し 行い防止に努めている			

É	外如	下 	自己評価	外	部評価
評価	外部評価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	_	〇権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性 を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援 している	成年後見制度を利用していた入居者も制度の 実際を理解している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や 家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い 理解・納得を図っている	十分に行っている		
10		○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並び に外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反 映させている	十分に行っている	利用者の意見、要望は日々の会話などから意向の把握に努め、家族とは来訪した時や電話での会話の時に、利用者の様子を伝え、意見、要望を聞いて記録簿に残し、職員会議で話し合い、運営に反映させている。	
1	1 7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提 案を聞く機会を設け、反映させている	特に制限していることはなく、反映させている	管理者はミーティング時やスタッフ会議で職員 の意見、提案を聞き、記録帳に残して、運営に 反映させている。	
1:	2	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務 状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいな ど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条 件の整備に努めている	給与面は優遇しスタッフの育成に取り組んでい る		
1:	3	〇職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際 と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の 確保や、働きながらトレーニングしていくことを進め ている	内外の研修の機会を持ち、ステップアップの向 上を行っている		
14	4	〇同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会 を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の 活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り 組みをしている	代表者、管理者等が行っている		

	ファ 石のたようの正(ユーガー)					
自己	外部 評価	外	自己評価	外	部評価	
一個	田 田	# 価	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
П.	安心	心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	5	○初期に築く本人との信頼関係				
		サービスの利用を開始する段階で、本人が困って いること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本 人の安心を確保するための関係づくりに努めている	不安、困っていることがないかを確認し安心へ 導いている			
16	3	〇初期に築く家族等との信頼関係				
		サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族からの要望も取り入れるよう努めている			
17	7	〇初期対応の見極めと支援				
		サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今すべきこと、今出来ることに全力を挙げてい る			
18	3	〇本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、 暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一方的に偏らず共同関係に努めている			
19	9	〇本人を共に支え合う家族との関係				
		ていく関係を築いている	家族と共に支える関係作りに努めている			
20) 8	8 〇馴染みの人や場との関係継続の支援		馴染みの美容室、理容室に職員が付き添って		
		との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の受け入れ状態を見ながら努めている	支援している。友人、知人が来訪して交流したり、家族と墓参りしたり、年末に実家で過ごして 家族との交流が途切れないように支援してい る。		
21	1	○利用者同士の関係の支援				
		/ 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せ ブラッド で利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	互いが交流を持ち協同の関係になるよう導いて いる			

	//\\				
自己	外部評価	項目	自己評価	外	部評価
評価	評価	- A I	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		〇関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係 性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経 過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて支援を行っている		
Ш.	その	の人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	•		
23	9	〇思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討して いる	本人の希望や本人の身になって行動するよう 努めている	日々の会話、表情などから個々の思いや希望を汲み取り記録して職員で共有している。意向等を上手く伝えられない利用者に対しては、普段の様子や状態を注意深く観察し、汲み取るように努めている。	
24		〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	プロフィール、生活環境等を職員で把握できる ようにしている		
25		〇暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力 等の現状の把握に努めている	一人、一人の心身状況把握や残存能力を発掘 し活かしている		
26		〇チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方に ついて、本人、家族、必要な関係者と話し合い、そ れぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した 介護計画を作成している	スタッフとアセスメント、モニタリングを行い家 族、本人の意向を反映している	利用者、家族の意向を反映させ、毎月カンファレンスを行いアセスメントとモニタリングを繰り返しながら、3か月毎に計画の見直しをしている。利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、その都度現状に即した介護計画に見直し、利用者や家族等の確認を得ている。	
27		〇個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日記録を行い、共有し活用している		
28		〇一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況の変化に応じたニーズを提供している		
29		〇地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな 暮らしを楽しむことができるよう支援している	インフォーマル、フォーマル共に有効活用してい る		
30	11	〇かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得 が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きな がら、適切な医療を受けられるように支援している	本人従来のかかりつけ医や往診に繋げている	本人、家族の希望に添ったかかりつけ医に受診できるよう支援している。協力医の往診は月2回受診し、健康管理を行い、専門医の受診は職員が通院介助を行い、適切な医療を受けられるように支援している。	

自己評価	外部	項目	自己評価	外	部評価
評価	部評価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		〇看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や 気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝 えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を 受けられるように支援している	情報の提供や指導、実践を受けている		
32		〇入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、 また、できるだけ早期に退院できるように、病院関 係者との情報交換や相談に努めている。又は、そう した場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っ ている。	医療機関との連携は密に行っている		
		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い 段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で できることを十分に説明しながら方針を共有し、地 域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人、ご家族とは同意書をあらかじめ交わし、 又会社の指針に基づいて支援を行っている	入居時に利用者、家族に重度化や終末期のケアについては事業所の方針等を説明して確認 印を得て支援に取り組んでいる。看取りについては今後の課題としている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員 は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実 践力を身に付けている	救急搬送の手順の周知、事故発生時には備え ている		
35	13	〇災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利 用者が避難できる方法を全職員が身につけるとと もに、地域との協力体制を築いている	定期的に訓練を行っている	年2回夜間を想定して避難訓練を行っている。 防災会社、家族、ボランティア、町内会等の協 力を得ながら避難方法の協力体制を築いてい る。	
IV.	その	カ人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	〇一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを 損ねない言葉かけや対応をしている	トイレはカーテンを閉めたり、敬語を使うようにしている	一人ひとりの人格を尊重し、親切、丁寧な言葉 かけに対応している。排泄時の誘導にプライバ シーを損ねないように支援している。	
37		〇利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自 己決定できるように働きかけている	答えは自分で決められるように導いている		
38		〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人 ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過 ごしたいか、希望にそって支援している	個別のペースを確保し、趣味を行うなど希望を 取り入れている		
39		〇身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 支援している	好みを聞き入れ取り入れている		

自己	外部評	項目	自己評価	46	部評価
評価	評価	次 口	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	〇食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好み や力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備 や食事、片付けをしている	お稲荷さん作りや芋むき、茶碗拭き等軽作業を一緒に行っている	献立は利用者の健康を考えながら管理者が作成している。利用者は準備や配膳、片付けなどそれぞれが出来る事を職員と一緒に楽しみながら行っている。とろみ、きざみ食、ミキサー食で利用者に合った食事をしている。	
41	1 /	〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態やカ、習慣に応 じた支援をしている	糖尿病や個別食形態を3食提供している		
42		〇口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人 ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアを している	軽ブラッシングや拭き取り等個々に合わせて 行っている		
43		〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの 力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの 排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	夜はオムツでも昼はケアパンツに履き替えトイレ誘導を行っている	トイレでの排泄を心掛け、排泄チェック表から 個々の排泄パターンや声掛けのタイミングなど を把握し、トイレ誘導をしている。誘導時はできるだけ自力で歩くよう自立排泄の支援を行って いる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫 や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り 組んでいる	身体を動かし野菜や水分を多く摂るなど工夫し ている		
45	17	〇入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽 しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めて しまわずに、個々にそった支援をしている	個々に応じた介助法を行っている	週2回以上を基本に、利用者の希望に応じた時間帯を考慮し、日頃の思いや要望を、職員と気楽に会話しながら入浴が楽しめるように配慮している。 拒否がある場合は声かけや日時を変更するなど工夫している。	
46		〇安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じ て、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援 している	時間帯は個々に応じて入床し安眠へ導いている		
47		〇服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用 法や用量について理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	誤薬のないよう慎重に一人ひとり確認して行っ ている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人 ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽し みごと、気分転換等の支援をしている	笑いあい、気分転換も含めて外出したりしてい る		

	7/11	女のたようの正(ユニノバイ)			
自己	外部評価	ト 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『	自己評価	94	部評価
評価	評価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49		〇日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	必要性に応じて支援している	散歩や近隣のスーパーへ買い物に行ったり、 地域の花火大会、盆踊りなどを見学したり、夏 祭りで食事を楽しんでいる。家族と一緒にお 盆、お正月に実家で過ごすのを楽しみにしてい る。	
50		〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解して おり、一人ひとりの希望やカに応じて、お金を所持 したり使えるように支援している	お小遣い帳をつけ管理し、紛失しない範囲で所持している。		
51			本人の希望があれば電話をしたり、一緒に手紙 を書いたりしている		
52	19	〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、 トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくよ うな刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように 配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく 過ごせるような工夫をしている	ホーム内は清潔にし、トイレは朝夕2回清掃し、 汚染時都度清掃を行っている	居間、食堂は吹き抜けで天窓からやさしい日 差しが入り、明るく、ゆったりと、居心地良く過 ごしている。トイレ、洗面所、浴室は常に清潔 にしている。廊下に椅子を置き、歩行や、運動 機能を補えるように工夫している。	
53	\perp	〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用 者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫 をしている	ひとりでリラックスしたり、気軽におしゃべりが出 来るように誘導したりと空間の工夫をしている		
54	20	〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談 しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし て、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしてい る	使い慣れた家具を持ち込む等してもらっている	居室の入り口に自室が分かる飾りをつけて、 馴染みの使い慣れた家具等を持ち込んでい る。編み物が趣味で靴下を楽しみながら編ん でいる人、カラオケが好きで自室で楽しんでい る人、家族からのプレゼントを置いて楽しんで いる人、それぞれ居心地良く過ごしている。	
55		〇一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している	自分で出来ることは過度に支援せず、且つ安全 に無理なく行えるように支援している		